

令和5年度第1回平塚市文化振興懇話会会議録

【日 時】 令和5年10月16日（月）14:00～15:30

【会 場】 市役所本館 519会議室

【出席者】 構成員5名（敬称略） : 沖野成紀、平野恵美子、高橋浩也、岩崎由紀子、
高橋孝祥
市職員4名（事務局） : 小峰市民部長、柴崎文化・交流課長、
武井文化振興担当長、荒原主管
傍聴人 : なし

会議次第

1 開会

2 市民部長あいさつ

3 参加者紹介

4 座長・副座長の選任

座長（沖野氏）、副座長（平野氏）が選任された。

傍聴人の確認

傍聴希望者がいなかったことを事務局から座長へ報告した。

5 議題

（1）平塚市の文化行政について

○事務局説明要旨

- ・資料（1）に基づき説明
- ・平塚市では市民部文化・交流課と教育委員会の社会教育部で役割分担をして文化行政に取り組んでいる。
- ・文化・交流課では、ひらしん平塚文化芸術ホールの管理運営のほか、文化情報誌の発行、平塚市文化振興基金の管理・活用、囲碁文化の振興や、まちづくり財団の文化事業への補助を行っている。

●文化情報誌たわわ

- ・平塚市にゆかりのある人・活動を、文化の観点から取り上げ、市民に紹介している。
また、工芸や文化財をはじめ、音楽、美術、アート、ダンスの他、ホストタウンであるリトアニア共和国や姉妹都市であるローレンス市の紹介も取り上げている。

●小学校アウトリーチ事業

- ・市内小学校に、プロの演奏家を派遣して、身近なところで音楽に触れてもらっている。
令和4年度は6校で7日間実施した。令和5年度は7校で実施予定である。

●平塚市文化振興基金

- ・市民文化の振興を図るために必要な長期的・安定的財源を確保するため、平成6年度に創設し、令和4年度までに437件、70,490,166円の寄付をいただいている。
- ・令和5年4月1日時点の基金残高は31,977,403円となっている。
- ・この基金は、小学校アウトリーチ事業、平塚市まちづくり財団と連携して実施する囲碁文化振興事業、文化振興補助事業等に活用している。

●囲碁のまちづくり

- ・平塚市にはかつて木谷實九段が開設した木谷道場があったことから、囲碁を本市の特色ある文化と位置づけ、平塚市まちづくり財団に委託し、年間を通して囲碁大会、囲碁教室等を開催し、囲碁文化の振興を図っている。令和4年度は台風や新型コロナウイルスまん延防止のために中止が続いていた「湘南ひらつか囲碁まつり」を4年ぶりに開催できた。その他の事業についても、子ども囲碁大会や女流棋聖戦大盤解説会、各種囲碁教室など概ね予定どおり開催した。

●公益財団法人平塚市まちづくり財団の事業

- ・文化芸術の振興を図るため、平塚市まちづくり財団に補助金を交付し、財団が普及振興事業を実施している。

●ひらしん平塚文化芸術ホールの運営

- ・令和4年3月26日に開館し、令和4年度からは一般利用が開始され、多くの方に利用されるとともに、ホール主催の事業も多数開催し、市内外から多くの方が参加され、文化芸術の新たな拠点として様々な文化芸術の鑑賞・体験・発表の場として活用され、周辺の賑わいを創出している。詳細については次の議題で報告する。

○質問・意見等

構成員：小学校アウトリーチ事業が浸透ってきていて素晴らしいことだと思う。演奏家については、子どもたちが聞いたことの無い珍しい楽器を演奏できる方は考えていないのか？

事務局：演奏家のジャンルは小学校の希望を聞きながら選定している。珍しい楽器という希望は今まで無いが、希望があれば検討したい。演奏家への謝礼は多く用意できないのと、一般財団法人地域創造の音活プログラムに登録をしたアーティストから選定している。また、文化・交流課職員が同プログラムのデモンストラーションに参加して色々な楽器のアーティストのプログラムを学んでいる。

構成員：最近子どもたちが、和楽器を聞く機会が減っている。琴とか尺八とか三味線などの和楽器を聞く機会が提供できるといい。アウトリーチで和楽器の音色を聞く機会を作れるといいのでは。

構成員：謝礼の問題もあるようだが、演奏家の方たちは青少年育成の視点を持った方も多く、少ない謝礼や交通費程度で出演してくれる方もいる。

事務局：小学校アウトリーチ事業は、身近な学校でプロの演奏を聞いてもらうことが一つの目的だが、その先にはホール、劇場でコンサートに参加して欲しいという狙いもある。7校実施しているが、応募が多くあり抽選で決定している状況でもある。

学校のニーズが高まっている中で、実施方法は今後も検討していきたい。

座長：楽器の紹介というよりは、珍しい楽器など色々な楽器を聞ける鑑賞機会を提供できるという趣旨でよいか。

構成員：普段目に触れない楽器の音色がどんな音なのか、子どもたちが興味を持つのではと思って提案した。自分の経験でも初めて聞いた楽器でこんな音色がするのかと感動したことがある。

座長：東海大学でも付属幼稚園でミニコンサートを実施していたことがあり、その時はチェンバロなど色々な楽器を演奏して、楽器の紹介もしていた。特殊奏法なども見せると子どもたちは本当にキラキラした目で見せてくれた。そういった楽器の紹介なども既にアウトリーチでは実施しているのだろう。

事務局：演奏だけでなく楽器の紹介なども実施している。身近なピアノでも、鍵盤をピアノから取り出して見せたり、ピアノの下で聞いてみたりなど、普段できない体験を提供して喜ばれている。

座長：これまでの意見をまとめる

①アウトリーチについて、和楽器など色々な楽器を聞く機会を提供してほしい

(2) ひらしん平塚文化芸術ホールの運営状況について

○事務局説明要旨

・資料(2)に基づき説明。

●令和4年度・5年度の利用状況

- ・令和4年度の実績として、貸出施設の利用者数は累計で121,589人であった。
- ・令和5年度は8月までの実績で、5月、8月は前年度に比べて少し減っているが、他の月は大幅に増加している。
- ・令和4年度の各施設の稼働率は、大ホールは62.1%、多目的ホールは57.5%、全施設平均では49.2%となっている。
- ・令和5年度8月末時点の稼働率は、全体で53.2%となっている。

●令和4年度実施事業について

- ・指定管理者が実施する事業には、市の指定管理料を充てて実施する主催事業と、指定管理者の自主企画としてチケット収入の責任を負う自主事業の2種類がある。
- ・主催事業は年間18,205人の参加があり、自主事業は6,479人の参加があった。

○質問・意見等

構成員：レセプション講座は有料か。

事務局：参加費は有料だが、ホールのレセプションに登録を希望される方は無料としている。

構成員：有料で学んで、レセプションとしてお手伝いする時は無料でボランティアとなるのはおかしいという意見を聞いた。

事務局：ご案内が分かりづらい部分があったのかもしれない。

構成員：講習を受けるとレセプションになれるのか。

事務局：そうである。

構成員：過去にレセプションにはふさわしくない不親切な方がいた。

事務局：ホールでの催しには、ホール主催のものと、貸館のものがある。ホール主催の事業でそのようなことがあれば、ホールまでご意見をお寄せいただきたい。問題があれば改善していきたい。

構成員：貸館の場合は、主催者がレセプションを別で用意しているのでは。

事務局：ホールのレセプションとして登録されている方は、ホール主催の事業でのみ従事している。貸館の事業は別の会社などのレセプションなどが配置されている。レセプションに対する意見はアンケートなどで頂くこともあり、その都度改善に向けて指導している。

構成員：コンサートでホールに来た方には良い気持ちで帰ってほしい。

構成員：稼働率の資料にある文化芸術支援室とはどんな利用用途の施設か。

事務局：ホール2階にあるガラス張りの水場を備えた施設である。水彩画教室などの利用を想定している。比較的利用率が低い施設だが、ガラス張りであることで見られるのが嫌だという声や、作業用に背もたれのない丸椅子を設置しているが、長時間座るのが疲れるといった声も頂いている。目隠しなど対策を検討していきたいと考えている。

構成員：平塚は、公民館や青少年会館などたくさん施設があるが、今後古い施設が統合改変される中で、ホールの各室の稼働率も高まると思うが、そのあたりの見通しはあるか。

事務局：青少年会館など施設の再編は予定されているので、有料にはなってしまうが、それらの施設の代わりとして利用していただければと思っている。大練習室は稼働率が高いが、ここは鏡があり、レッスンバーがあるので、音楽だけでなくバレエやダンス、空手の型など多様な利用がされている。そういった利用も増えていくだろうと考えている。利用増に向けたPRなども検討していきたい。

構成員：和室は茶道で使われているのか。

事務局：炉を切っているので茶道でもご利用頂いている。茶道以外でも、控え室や着物の着替えなどでも利用できる。実際の内訳は手元に資料が無い。

構成員：大ホール、多目的ホールの利用区分が他ホールより細くなっているため、他ホールの様な区分にしてほしいが、検討状況はどうか。

事務局：ご意見は以前から頂いており承知しているが、利用者の中には細かい区分で利用料金が少なく済んでいる方もいる。

構成員：夜区分だけ使うことはできないのではないかと。講演会などと違って、演奏会やバレエなどは準備や撤収が必要なので、プロの方が使いづらくて利用しなくなるのではと心配している。講演会用のホールではなく、文化芸術のためのホールなので、本格的に検討してほしい。

事務局：令和7年度に予定している外部モニタリング等でも、利用状況、利用者の声を踏まえて検討していきたい。利用区分については、条例改正や予約システムの改修なども必要なので、すぐに変更はできないことをご了承いただきたい。

座長：これまでの意見をまとめる

- ①レセプションист養成講座について、登録される方は無料であることをしっかり周知していただきたい。
- ②レセプションистの振る舞いについて意見があった。
- ③稼働率の低い文化芸術支援室や和室について、利用用途の質問があった。また、稼働率を高めるための工夫が必要との意見があった。
- ④大ホール、多目的ホールの利用区分について見直しをしてほしいとの意見があった。

(3) 平塚市文化芸術振興計画の進捗状況について

- ・資料(3)、(4)に基づき説明。
- 令和4年度事業の進捗状況
 - ・計画掲載事業について、令和4年度の実績、課題と成果を記載した。
 - ・傾向として、新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中止又は一部中止した事業は、全体で10事業あった。また、令和3年度に中止した事業のうち11事業は令和4年度に実施ができた。
 - ・情報発信を課題にあげた事業が8事業、メンバーの高齢化や後継者不足を課題にあげた事業が4事業あった。
- 令和5年度事業の進捗状況
 - ・令和5年度の計画を記載した。
 - ・令和4年度に新型コロナウイルス感染症の影響で中止した10事業すべてが、令和5年度は実施予定となっている。

○質問・意見等

座長：確認だが、令和4年度の進捗で、NO.11の事業は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業と、令和3年度に中止したが復活した事業の両方であげられていたが間違いではないか。

事務局：NO.11の事業は複数の事業があり、令和3年度に新型コロナウイルス感染症の影響で中止した一部の事業は復活したが、一部の事業は引き続き中止となった。

座長：本懇話会では、計画の進捗管理を担うこととなっているが、議題3は報告事項となっている。ここでの意見はどのような位置づけとなるか。

事務局：報告事項となっているが、報告に基づき進行管理として各事業の進捗状況や計画全体について、御意見を頂いて進捗管理としたい。頂いた意見は、庁内の検討組織に報告し共有するとともに、事業の見直しなどを検討する。

構成員：令和4年度から10年度の7か年の計画で、本日はそのうちの令和4年度の報告をしているということでしょうか。

事務局：そのとおりである。令和6年度には中間見直しも実施するため、市民アンケートも予定している。

構成員：NO.11の金目エコミュージアムは聞いたことはあるが、金目のどこで実施されている事業か。

事務局：金目地区全体をエリアとして、環境や歴史、自然、文化遺産などをテーマに、まちをまるごと博物館とみだてて、長年様々な活動をしている。

座長：東海大学では人間環境学科でNPOなどを作って金目川の環境活動を実施しているが連携をしているのか。

事務局：庁内の検討組織の共有で確認したい。

構成員：文化芸術ホールの主催事業は、子ども向けなどのジャンルが決まっているのか。

事務局：指定管理の募集における要求水準で、ジャンルなどの枠組みを指定している。その枠組みに基づいて指定管理者が企画し、市が承認している。

構成員：指定管理者の企画について、市が修正を求めることもあるのか。

事務局：企画意図や企画内容を見て、修正を求めることもある。

構成員：まちづくり財団と文化芸術ホールが共催することは可能なのか。文化芸術ホールと共催となれば施設使用料が不要となると聞いた。

事務局：文化芸術ホールの運営方法を決める中で、まちづくり財団と文化芸術ホールの事業についてはすみ分けをしている。また、施設使用料はまちづくり財団も全額ではないが、減免の対象とはなっている。文化芸術ホールの共催事業については、基本的には継続的な共催ではなく、単年の共催となっている。

構成員：財団の事業の実施方法については、まずは財団の文化事業課に相談してほしい。

事務局：本日欠席の構成員から、進捗状況管理表の様式について事前に意見を頂いている。現在の様式では、市の所管課は掲載されているが、各事業が市単独で実施しているのか、市民や団体等と協働して実施しているのかが分からないので、分かるような記載をしてほしいとの意見であった。

構成員：中学校の現状としてお話しする。部活動の地域移行が課題となっていて、運動部は体育協会などがあり進んできているが、どうしても文化部が遅れがちである。NO.60で大人、女性向け囲碁教室がある。市内では浜岳中学校と神明中学校に囲碁部があり、かつては県内でもトップクラスの実力があつたが、徐々に部員も減少してきている。地域の個人指導者にお願いする方法や民間の団体をお願いする方法などあるが、囲碁については、こういった囲碁教室で中学生を取り込む形で実施するなどできないか。他分野でも同様に、美術部、吹奏楽部、演劇部といった部活動について、地域の連携先が見つからないのが大きな課題である。広く連携を取れる方法があるとありがたい。

事務局：文化部の地域移行については、1つの課題として庁内検討組織でも議論をしたい。囲碁については、文化・交流課でも検討していきたい。

座長：これまでの意見をまとめる

- ①懇話会の進捗管理における役割を確認した
- ②計画期間に関する確認があつた
- ③金目エコミュージアムに関する質問があつた、また東海大との連携の可能性について提案があつた
- ④文化芸術ホール指定管理者の事業企画の承認方法について質問があり、市で企画を確認し、意見をすることもあつたと回答があつた
- ⑤まちづくり財団と文化芸術ホールとの共催の可能性について質問があり、

基本的にはまちづくり財団と文化芸術ホールではすみ分けをしているとの回答があった

⑥進捗管理表の様式について連携先を加えることの提案があった

⑦文化部文活動の地域移行について、連携先の確保について要望があった

座長 : 以上で議事を終了する。

6 事務連絡

7 閉会